

超速硬性コンクリート用パック詰め ジェットパック

ジェットパックとは

現在、超速硬コンクリートの現場練りには、単位水量、骨材、現場計量の手間など様々な問題があります。これらの問題を一挙に解決するために使用材料のすべてを吟味・計量済のパックにしたものが「住友大阪のジェットパック」です。

ジェットパックの特長

- ジェットパック用に厳選吟味された各材料は計量・包装されていますので、計量の手間が省け、品質が安定します。
- 1セットあたりの練上り量は約25リットルです。
- 3時間で $24\text{N}/\text{mm}^2$ 以上の強度が得られます。(20°C室内試験)
- 長期にわたって安定した強度を示します。
- 浮き水（ブリーディング）がほとんどなく打設後沈下がありません。

ジェットパックの用途

マンホールの高上げ・側溝工事
 上下水道・配管、配線工事
 機械等の据付工事等の緊急工事
 家庭用（園芸、土間、各種補修）等・
 その他緊急を要する諸工事



※荷姿は製造の都合等により予告無く変更する場合がありますので予めご了承下さい。

被膜養生剤



スミセエスシー

プライマー



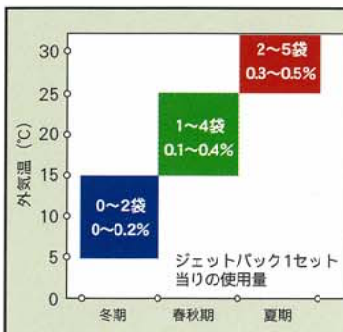
ライオンボンドA

ジェットパックの標準配合例

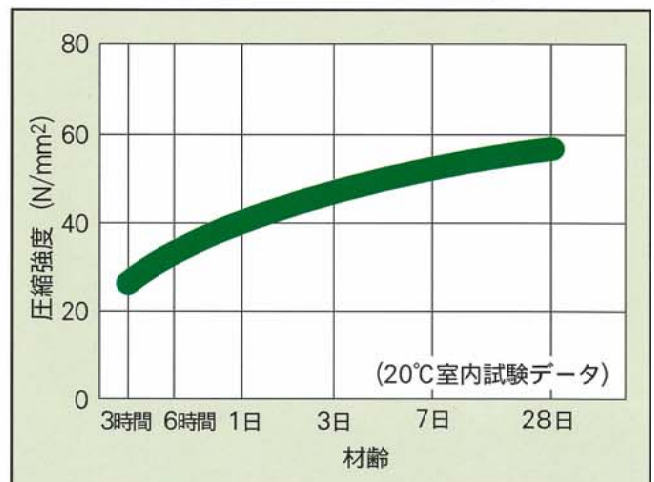
配合 (kg)	パック-1		パック-2		パック-3		練上り量 (ℓ)
	セメント	細骨材	粗骨材	水	減水剤	遅延剤 (添付)	
袋	27		28		3.8		約25

- 使用条件・保存状態により、スランプが変動します。ジェットパックの推奨水量は3.8kgですがスランプ変動に対応するため、パック3には4kgの水量が入っています。試し練り時に水量決定を行ってご使用ください。
- ジェットセッターは外気温に応じてパック3にあらかじめ適量を添加してください。

ジェットセッター(遅延剤)の外気温別の添加率



ジェットパックの圧縮強度と温度の関係



施工手順

使用材料

ジェットバック
 バック1：ジェットセメント+細骨材
 バック2：粗骨材
 バック3：水+混和剤+ジェットセッター

被膜養生剤：スミセエスシー
 プライマー：ライオンポンドA

※スミセエスシー、ライオンポンドAは2~3倍希釈でご使用ください。

準備

- コンクリート用強制練りミキサ、または傾胴式ミキサ等。
- 計量容器、ハカリ、コンクリート受皿
- 内部振動式バイブレーター
- スコップ、木ゴテ、金ゴテ
- 養生剤・養生マット・養生シート等

※硬化が早いため道具を多めに用意してください。

養生

環境条件の違いによる養生方法の組合せ例

環境条件	10℃以上	5℃~10℃	5℃以下
養生方法	皮膚養生	皮膚養生	皮膚養生
保温養生	保温養生	保温養生	保温養生
シート養生	シート養生	シート養生	シート養生
加温養生	加温養生	加温養生	加温養生
後養生	後養生	後養生	後養生
	供用下		

保温養生：保温マット等による養生
 シート養生：不透水性シートによる養生
 加温養生：ジェットヒーター・電気毛布等による養生

- 養生は原則、施工後3時間以上行ってください。
- 養生中のモルタル・コンクリートには、散水等を行わないでください。
- 加温養生を行う際はモルタル・コンクリートに直接熱源や風を当てるとひび割れの原因となりますので、必ずシート養生を行ってから実施してください。

打込み

- 旧コンクリートの下地処理は十分に行ってください。打ち込んだコンクリートの水分が型枠・旧コンクリートなどに吸われることがないように打ち水、もしくはプライマー処理・ブラスト処理等を行ってください。
- バイブレーターで十分に締め固めてください。
- ジェットバックは硬化が速いので、作業が中断しないようにしてください。
- 多層打ちを避けて、一層打ちにし、打ち継ぎ目を作らないようにしてください。
- 硬化しなかったモルタル・コンクリートに、水を加え練り返して使用しないでください。

表面仕上げ

- 施工可能時間は、ジェットセッター添加率により変わりますが、およそ20~30分ですので表面仕上げは早い時期に行ってください。表面仕上げ終了後、できるだけ早い時期に被膜養生剤（スミセエスシー）を噴霧器等で、均一に散布してください。
- 表面仕上げを行う際に、モルタル・コンクリート表面に水・混和剤をかけないでください。



ジェットバックの使用方法



ジェットセッター（遅延剤）の投入

- 外気温に応じてバック-3にジェットセッター（遅延剤）を投入し、ふたをして、バック-3をよく振って、よくかき混ぜ溶解してください。

バック-2、バック-1をミキサーへ投入

- ミキサーにバック-2、バック-1の順に開封投入します。なお、ミキサーはコンクリート用強制練りミキサーまたは傾胴式ミキサーをご使用ください。※モルタルミキサーは使用しないでください。

バック-3をミキサーへ投入後、練り混ぜ

- バック-2、バック-1の投入後、ミキサーにバック-3を投入し約3分間練り混ぜます。

練り上がり

- ジェットバック1セットあたりの出来上がり量は約25リットルです。直ちに施工箇所に打ち込みます。

暑中対策

- 材料温度が高いと練り上がり温度が上がり、急激な硬化の原因となりますので以下の処置を行ってください。
- 材料は直射にあたらないように保管してください。
- 外気温が30℃を超え、練り上がり温度が35℃を超えると予想できる場合は、冷水等を使用し練り上がり温度が35℃を超えないようにしてください。
- 打設後の養生は直射、風等による乾燥がおこらないよう施工後すぐにシート養生等を行ってください。

寒中対策

- 氷雪のついている材料は、そのまま使用しないでください。
- 打ち継ぎ目のコンクリートが凍結している場合は、適当な方法でこれを溶かし、打ち継いでください。
- 材料を加温する場合は、水または骨材を加温するのが効果的です。
- 材料を加温した場合、モルタル・コンクリートの性状が異なる場合がありますのでご注意ください。
- 型枠の取り外し時は、打設箇所の温度を急激に低下させないようにしてください。

使用上の注意

- 本製品は強アルカリ性を呈し、目、鼻、皮膚等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。直接、皮膚に触れたり、目に入らないようにしてください。
- 作業時には、保護手袋、防塵マスク、防塵眼鏡等を必ず着用してください。
- 発塵に注意し、十分な換気に配慮してください。
- 目や口に入った場合は、きれいな水で十分に洗眼・うがいを行い、直ちに専門医の診察を受けてください。
- 材料の容器（袋）は完全防水仕様ではありませんので、保管は屋内で行ってください。屋外に仮置きする場合は、パレット等でかさ上げし防水シートで覆ってください。開封した材料は、なるべく早く使用してください。
- 他のセメントと混ぜないでください。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

東京	〒102-8465 東京都千代田区六番町6番地28	電話 03(5211)4752	Fax 03(3221)5624
大阪	〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)	電話 06(6342)7704	Fax 06(6342)7708
東北支店	〒980-0804 仙台市青葉区大町2-2-10(住友生命青葉通りビル12F)	電話 022(225)5251	Fax 022(266)2516
北陸支店	〒920-0849 金沢市堀川新町2-1(カーニープレイス金沢駅前7F)	電話 076(223)1505	Fax 076(223)0193
名古屋支店	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル)	電話 052(566)3202	Fax 052(566)3273
四国支店	〒760-0023 高松市寿町2-2-10(JPR高松ビル3F)	電話 087(851)6330	Fax 087(822)6870
広島支店	〒730-0031 広島市中区小町3-25(住金物産広島ビル8F)	電話 082(242)1155	Fax 082(242)1233
福岡支店	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙と博多ビル8F)	電話 092(431)0186	Fax 092(471)0530

本カタログの記載内容については、予告なく変更する場合がありますので、予めご了承願います。

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は